

# みんな集まれ!!

## 子ども会

いつの時代も子どもたちは、学校の友達に加え、近所の年上、年下の友達との交流で、社会に適應する能力を身に付けていくものです。

「子ども会」では、さまざまな年齢の子どもたちが触れ合い、思いやりや社会性、創造力などをはぐくむことを目的に活動しています。

### 子ども会ってなあに？

近所の子もたちと「遊び」を中心に、みんなで考え、みんなで話し合っ楽しく活動する「子ども会」。

その活動を「育成者」がサポート（見守り）し、年齢の違う友達との遊びや地域の人たちとの交流をしています。学校と違って、教科書にはないさまざまな体験ができます。

中央区には、主に町内会を単位として、36の子ども会があります。「就学3年前」の子どもから高校3年生までの会員約500人と、育成者として大人約600人が登録、活動し

ています（平成22年12月末現在）。

### どんなことしてるの？

各地域の子ども会では、遠足、花火大会、クリスマス会、ゲーム大会など、野外や室内でさまざまな活動をしています。

また、地域の子も会が集まって組織されている「中央区子ども会育成連合会（区子連）」でも、中央区の子も会を対象にした「子どもまつり」や他の市町村を訪れる子ども列車「ドリーム号」など、いろいろな行事を実施しています（下欄「区子連の主な活動」参照）。

### 活動を支える人々

中央区の子も会を支えているのは、行事の企画や子どもたちの見守りなど、地域においてボランティアで活動している育成者の皆さんです。

区子連では、子ども会活動の手伝いや、育成者の支援事業などを行っています。また、札幌市全体の子も会を支える「社団法人札幌市子ども会育成連合会（札幌子連）」では、子ども会の普及・啓発活動や、ジュニアリーダー研修（左ページ参照）を実施しています。

### 中央区子ども会育成連合会

林拓子会長の話

長く子ども会に携わっていますが、子どもたちの元気な笑顔はいつも変わらず輝いています。子ども会を通じてより思いやりがある元気な子に育ってほしい、そう願っています。



▲活動を企画する育成者

### 区子連の主な活動（平成22年度）

4月～3月（毎月1回）こどもの交流の日



8月 中央区子ども列車「ドリーム号」

